

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	トナリエ星田	階数	地上2F
建設地	大阪府交野市星田北	構造	S造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	5,000 人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,860 時間/年(想定値)
建物用途	物販店,飲食店,病院,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年3月 予定	評価の実施日	2023年2月13日
敷地面積	10,796 m ²	作成者	鈴木 六三史
建築面積	5,798 m ²	確認日	2023年2月14日
延床面積	8,679 m ²	確認者	鈴木 六三史

本表を右クリックし、「図の複製」を選択していただくことで、外観写真を貼り付けることができます。

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.8 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.3

LR のスコア = 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合 利用者にとって快適な室内環境となるよう、使用材料や開放感に配慮した計画とした。 敷地内や屋上・壁面には、緑化を行い敷地内・敷地外の温熱環境にも配慮した建物とした。		その他 特になし。
Q1 室内環境 室内の内装材はF☆☆☆☆をほぼ全面的に使用し、室内空気質の向上に配慮した。	Q2 サービス性能 天井高を十分に確保することで、室内の快適性を向上に努めた。 耐用年数の長い部材の採用や、階高を十分確保することで、耐用性や更新世に配慮した。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内にはできる限りの緑化を行い、敷地内温熱環境の向上に努めた。
LR1 エネルギー 適切に断熱材を用い、外皮負荷の抑制を図った。また、高効率設備を採用するなど、省エネ性に配慮した。	LR2 資源・マテリアル 節水器具の採用や、部材使用削減が可能な工法の採用など資源の保護に配慮した。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ : 84% 敷地内緑地の確保や卓越風に対する見付面積を小さくするなどヒートアイランド化の抑制に配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R4-変-0027

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	トナリエ星田					
	建設地	大阪府交野市星田北					
	用途/区分	物販店 飲食店 病院					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B-	
①	CO2削減					4	
②	みどり・ヒート アイランド対策					3	
③	建物の断熱性					3	
④	エネルギー削減					3	
⑤	自然エネルギー直接利用					—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—

エネルギー消費量の報告

【評価項目】

項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.6	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	2.6	3
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	2.9	3
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		